

研究種目：基盤研究(C)
研究期間：2006～2008
課題番号：18530093
研究課題名(和文) 公共資源配分の政治経済学——空港発着枠市場の制度化ゲームに見る「失敗」の実証分析
研究課題名(英文) A political economic analysis of the allocation of public property: Empirical investigation into the causes of failure in the game of institutionalization of airport slot market
研究代表者 福井 秀樹 (FUKUI HIDEKI)
愛媛大学・法文学部・准教授
研究者番号：00304642

研究成果の概要：

本研究では、公共資源配分への市場メカニズム導入に関する実証的な政策分析を行った。具体的には、米国における空港発着枠配分への市場メカニズム導入の「失敗」を分析の対象とした。この政策に関するデータを包括的に用いた世界初の定量的分析が成果として得られた。

交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2006年度	1,200,000	0	1,200,000
2007年度	1,000,000	300,000	1,300,000
2008年度	800,000	240,000	1,040,000
年度			
年度			
総計	3,000,000	540,000	3,540,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：政治学・公共政策

キーワード：資源配分、市場メカニズム、空港、発着枠、定量的分析

1. 研究開始当初の背景

規制産業や公共サービスなどへの市場メカニズムの導入は、経済の持続的成長を促し公共部門の非効率を改善するために不可欠の政策として、今や広範な認知を得ている。近年では、「公共資源」の配分についても市

場メカニズム利用の必要性・有効性が指摘されている。例えば米国では、電波のような「公共資源」の配分にも1994年から市場メカニズムが活用され多大な成果を上げたと言われている。

もっとも、市場メカニズムが新たに導入された領域の全てにおいて期待された成果が

上げられているわけではない。事実、同じ米国でも、約 20 年も前の 1986 年に市場メカニズムが導入された空港発着枠（滑走路の利用権）の配分においては、市場メカニズムが十分に機能していないとされる。

こうした事態はなぜ生ずるのか。本研究課題は、市場メカニズム導入政策を事業者・行政・政治の間で展開される「市場の制度化ゲーム」と捉える政治経済学の視座から、取引費用に着目しつつ、この米国の空港発着枠市場を動的に把握し直すことによって、市場メカニズムによる公共資源の配分がなぜ「失敗」したのかをデータに基づき実証的に分析することとした。

2. 研究の目的

上述の通り、市場メカニズムによる公共資源の配分がなぜ「失敗」したのかをデータに基づき実証的に解明することが、本研究の目的である。

3. 研究の方法

具体的には以下の作業と定量分析により、市場の制度化「失敗」の原因を実証的に解明することとした。

(1) 政策史の整理

1986 年の自由化後、事業者・行政・政治の間で繰り返されてきた「市場の制度化ゲーム」の展開を、議会資料、Federal Register、また Docket Files などの整理を通じて明らかにする。

(2) 取引費用に着目した定性的分析による仮説導出

「市場の制度化ゲーム」の中で関係者が示してきた「ゲーム」に対する様々な「認識」を基に作業仮説を導出する。

(3) 発着枠取引データの定量的分析による

仮説検証

上記の作業により導出された仮説を、重回帰分析により定量的に検証する。必要なデータは米国連邦航空局より取り寄せる。

4. 研究成果

上記の作業の結果として「反競争的囲い込み仮説」が導出された。この仮説は、主に新規航空会社の認識に基づくものであり、「既存大手航空会社は、提携会社同士／大手同士で発着枠を囲い込み、競争相手である新規航空会社に発着枠取引を渡さない、それが市場メカニズムの機能を阻害している」とする仮説である。

空港分の発着枠取引データ（September 12, 1994 - July 1, 1999）を用いた重回帰分析により、上記仮説の検証を試みた。その結果、ラガーディアとオヘアの 2 空港では、発着枠の貸借期間は、関連会社間の取引におけるそれが、ライバル会社間の取引におけるそれよりも、統計的に有意に多いことが判明した。これに対して、しばしば新規参入者や GAO などにより指摘されてきた「新規参入者」または「非大手」それ自体に対する取引上の差別の証拠は、統計的には認められなかった。これにより、空港発着枠配分への市場メカニズム導入は、発着枠保有航空会社によるライバル航空会社への差別的取引により、上手く機能しなかったことが明らかとなった。

ただ、興味深いのは、ナショナル空港では、ライバル航空会社への差別的取引の証拠が必ずしも強くは認められない、ということである（ケネディ空港は明確な判断を下しがたい面がある）。実際、ナショナル空港については、ライバル航空会社が発着枠取引において差別を受けていることを示す統計的に有意な証拠は得られなかった。また、交差項を用いて、「新規参入の非大手ライバル航空会社」が発着枠取引における主要な差別の対象となっているかどうかを検証した際には、む

しる反対に、「新規参入の非大手ライバル航空会社」は「既存の大手関連航空会社」よりも多くの発着枠利用機会を、市場における発着枠取引を通じて得ている、という分析結果さえ得られた。標本数が多くないため、この分析結果の解釈には多大な注意が必要である。しかし、それは、非常に興味深い示唆（市場がライバルに対して差別的でない形で上手く機能してきたかもしれない、という示唆）を有するものであるため、今後、さらに分析を継続する価値があると言えるだろう。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 5 件）

1. Hideki Fukui, "An empirical analysis of airport slot trading in the United States," *Transportation Research Part B*, 44, 330-357, 2010 (査読有)

2. 福井秀樹「米国における空港発着枠取引の定量的分析——1994-1999 年」『交通学研究』（日本交通学会年報）、2008 年研究年報、231-240、2009 (査読有)

3. 福井秀樹「(研究ノート) 米国における空港混雑管理——現状と課題」『愛媛法学会雑誌』（愛媛大学法学会）、第 35 卷 1・2・3・4 合併号、221-237、2009 (査読無)

4. 福井秀樹「オヘア空港における発着枠取引の分析」『交通学研究』（日本交通学会年報）、2007 年研究年報、179-188、2008 (査読有)

5. 福井秀樹「書評：秋吉貴雄著『公共政策の変容と政策科学——日米航空輸送産業における 2 つの規制改革』（有斐閣、2007 年）」『公共政策研究』（日本公共政策学会年報）、7 号、170、2008 (査読無)

〔学会発表〕（計 6 件）

1. Hideki Fukui, "The Effect of Secondary Market on the Efficiency of Slot Use: Evidence from an Empirical Analysis (Poster Presentation)," *Transport Chicago 2009*, June 5, 2009, American Dental Association Building

2. 福井秀樹 / Hideki Fukui「米国における空港発着枠取引の経験的分析 / Empirical Analysis of Airport Slot Trading in the U.S.」（招待講演）、ITPU (International Transport Policy Research Unit), The 4th International Seminar: Airport Congestion Issues -- Theory and Practices, March 19, 2009, Sanjo Conference Hall, Hongo Campus, The University of Tokyo

3. 福井秀樹「米国における空港発着枠取引の定量的分析——1994-1999 年」、日本交通学会第 67 回研究報告会 2008 年 10 月 4・5 日開催 立命館大学びわこ・くさつキャンパス

4. Hideki Fukui, "An Empirical Analysis of Airport Slot Trading in the US," *Air Transport Research Society (ATRS)*, 12th World Conference, July 6-10, 2008, Athens (Athens International Airport)

5. 福井秀樹「オヘア空港における発着枠取引の分析」、日本交通学会第 66 回研究報告会 2007 年 10 月 6・7 日開催 中央大学多摩キャンパス

6. Hideki Fukui, "A Quantitative Analysis of Slot Transactions in the Slot Buy/Sell Market under the High Density Rule (Poster Presentation)," *Transport Chicago 2007*, June 1, 2007, Illinois Institute of Technology

〔図書〕（計 1 件）

1. 福井秀樹「空港発着枠配分の日米比較制度分析——共有的資源の配分に関する一考察」

中村則弘・高橋基泰編『国際比較研究叢書 3
グローバル化に対抗するローカル
——相互補完の可能性』明石書店、67-103、
2008（査読無）

〔産業財産権〕

○出願状況（計 0 件）

なし。

○取得状況（計 0 件）

なし。

〔その他〕

なし。

6. 研究組織

(1) 研究代表者

福井 秀樹
愛媛大学・法文学部・准教授
研究者番号：00304642

(2) 研究分担者

なし

(3) 連携研究者

なし